| 学校番号 | 317 |
|---|---|

# 平成 31 年度　芸術科（書道）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「書Ⅱ」　（光村） | | | | | | |
| 副教材等 | 自主作成プリント | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年では１年の授業で学んだ基礎を発展させて、創作を試みる授業内容が中心になります。
・「漢字のルーツを知ろう」のテーマで漢字の成立と書体変遷から入り、甲骨文・金文・篆書･隷書・草書を学ぶことで、書道史への理解を深め、同時に表現力の幅を広げます。
・１学期後半からは創作を中心に授業を展開し、大作にも取り組むことにより表現力を高めます。
・篆刻では姓名印を刻し、その後の作品に押印し活用します。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、暮らしに書を生かし、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a：書への関心・意欲・態度 | b: 書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、自らの構想に基づいて主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら調和させ、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している | 創造的な書表現をするために、参考とする名筆のよさや美しさを生かし、個性的効果的な表現の技能を身に付け表現している。 | 日常生活の書の効用や文字および書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | ・観察<br>・レポート<br>・ワークシート | ・観察<br>・レポート<br>・ワークシート<br>・提出作品 | ・観察<br>・レポート<br>・ワークシート<br>・提出作品 | ・観察<br>・レポート<br>・ワークシート<br>・提出作品<br>・鑑賞会 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 漢字のルーツを探ろう | ・漢字の成立と書体変遷について理解する<br>・甲骨文<br>・金文<br>・泰山刻石<br>・篆書の用筆法、字形の取り方<br>・篆書の特徴 | ○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○ | a:漢字の成立と書体変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。<br>b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。<br>c:筆の弾力を生かし、各書体の特徴に留意しながら表現している。<br>d:漢字の成立と書体変遷を理解し、古典のよさや美しさを感じ取っている。 | ・観察<br>・レポート<br>・提出作品 |
| | 姓名を篆書で書く(漢字創作) | ・字書で姓名の小篆を検字<br>・半紙4字サイズに書く<br>・色紙正方形にデザインして書く | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 篆書の美とその表現技法に関心をもち、自己の表現技法を高めようとしている。<br>b: 篆書の用筆法と結構法を理解し、表現を工夫している。<br>c:創造的な書表現をするために、字形の構成や分間布白・全体の構成を工夫し表現している。<br>d: 篆書のよさや美しさを味わっている。 | ・観察<br>・レポート<br>・提出作品 |
| | 姓名印の篆刻 | ・印稿<br>・印材準備<br>・布字<br>・刻刀<br>・押印<br>・鑑賞 | ○<br>○<br>○ | ○<br>○ | ○ | ○ | a:篆刻の用具用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。<br>b:篆刻のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。<br>c:印刀を使いこなし、篆刻の特性を生かしながら表現している。<br>d:自分や友人、様々な印人の印影を鑑賞し、そのよさを味わっている。 | ・観察<br>・レポート<br>・提出作品 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2<br>学<br>期 | 漢字の書（草書） | ・草書の成立<br>・草書の特徴と用筆<br>・十七帖<br>・書譜 | ○ | ○ | ○<br>○ | ○ | a:草書古典の美とその技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。<br>b:草書古典の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。<br>c:創造的な書表現をするために、線質、字形、全体の構成などの表現の技能を身につけ表している。<br>d:草書の特徴を理解し、そのよさと美しさを味わっている。 | ・観察<br>・レポート<br>・提出作品 |
| | 漢字仮名交じりの書 | ・漢字仮名交じりの書とは<br>・名品鑑賞<br>・書美の要素を再認識するための研究<br>・構成の研究<br>・墨色の研究<br>・線質の研究<br>・詩文のどこを作品にするか<br>・著作権について<br>・半裁作品自由創作<br>・清書、押印<br>・相互批評会 | ○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○ | a:漢字仮名交じりの書の創造的活動の喜びを味わい、試行錯誤を繰り返し、表現の構想から完成に至るまで、意欲的、主体的に表現活動に取り組もうとしている。<br>b:自らの意図に基づいて自己の表現の狙いを達成するために、自らの表現意欲を高め、用具･用材、線質、字形、全体の構成などについて工夫している。<br>c:創造的な書表現をするために、用具･用材、線質、字形、文字群と余白、全体の構成などの効果的な表現の技能を身に付け表現している。<br>d:鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、見ることを楽しみながら、書のよさや美しさを感じ取っている。 | ・観察<br>・レポート<br>・提出作品<br>・ワークシート<br>・批評会 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 漢字の書（隷書） | ・隷書の成立<br>・隷書の特徴と用筆<br>・礼器碑<br>・姓名を隷書風に書く<br>・隷書1～2字創作<br>・千鳥扇に清書、押印 | ○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:隷書古典の美とその技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。<br>b: 隷書古典の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。<br>c:創造的な書表現をするために、線質、字形、全体の構成などの表現の技能を身につけ表している。<br>d: 隷書の特徴を理解し、そのよさと美しさを味わっている。 | ・観察<br>・レポート<br>・提出作品 |
| | 仮名の書（俳句創作） | 春の俳句創作<br>・単体創作<br>・連綿創作<br>・変体仮名を利用した創作<br>・散らし書き<br>・千鳥扇に清書、押印<br>・展示、鑑賞会 | ○ | ○<br>○<br>○ | ○ | ○<br>○ | a:自らの感性や意図に基づいて、単体連綿や全体の構成を工夫しようとしている。<br>b:連綿散らしなど日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。<br>c:運筆のリズムや筆脈を通して、仮名の美の特質を理解し、創造的な表現技法を身につけ表している。<br>d:仮名の成立を理解し、古典に基づく仮名のよさと美しさを味わっている。 | ・観察<br>・レポート<br>・提出作品<br>・鑑賞会 |

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現への構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。